

平成25年12月28日

佐賀新聞掲載～ひびの子育て～

園長子育てコラムVol.16「『ワガママ』は子どもの提案

ひびの子育て

「ワガママ」は子どもの提案

子育ては、「ワガママ」で悩まれる親も多いのではないのでしょうか。0～3歳の「ワガママ」には、「できないことはできない」と親がしっかり伝えていくことも必要です。しかし、3歳以降の「ワガママ」は、子どもたちの「提案」として捉えてみましょう。

大人の私たちも自分がやりたいことを達成すべく、会社で自分の考えた企画を通そうと頑張ったり、欲しい物を買うために貯金をしたりと、いろいろな策を考

えます。子どものワガママを同じようなものです。「これを買いたいんだ～!」、「まだ、遊びたいんだ～!」と提案をしているのです。

その提案を即座に却下するのではなく、「あ～そうか、じゃあどうしたら達成できると思う?」と聞き返してあげます。そうすることで、「やりたい」にふたをして抑え込むだけではなく、子どもたちは「達成する方法」を考え出します。達成できない理由が周りの環境にあるのではなく、自分自身にあるのだと気付かせるのです。それに気付いた子ども

は、自分がやりたいことをどうしたらできるようになるか考える習慣が身につくようになります。

子どもが「ワガママ」を言い始めた時は、「提案力向上のチャンスだ!」と捉え、子どもの成長をサポートしてあげてみてはいかがでしょうか。(パパ記者・吉村直記＝おへそ保育園園長)

ママパパ記者への登録、感想・意見などはメール、mamapapa@saga-s.co.jp。
※過去記事は佐賀のブログハブサイト「saganPOST (サガンポスト、URL post.saga-s.co.jp)」に掲載。

